

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	3	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		国道126号 八木拡幅		
事業所管課		道路整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成 18年度	用地着手年度	平成 19年度	工事着手年度	平成20年度 令和13年度	工事終了(認可)年度	再評価の理由	再評価	
費用便益比 B/C	1.5 (2.6)	総費用	37億円 (22億円)	総便益	58億円 (58億円)	基準年	令和 元年度	供用開始 年度	令和 13年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

国道126号八木拡幅は、銚子三崎町から旭市八木までの約5.7kmの事業であり、現国道126号の交通混雑緩和、線形不良による事故多発区間の改善、幅員狭小区間における歩行者や小中学校の通学路としての安全性の確保の他、利便性の向上による地域活性化に大きく寄与するものである。

(事業内容)

- ・総事業費：37億円
- ・事業延長：L=5.7km
- ・事業期間：平成18年度～令和13年度

【事業の進捗状況】(令和元年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	37	13	24	35

【社会経済情勢等】

1. 国道126号八木拡幅における並行現道の状況

- ①現道の国道126号では、三崎町二丁目交差点や小浜工業団地入口交差点、飯岡バイパス東口交差点において、速度低下が顕著である。
- ②銚子市親田町や小浜町、三崎町付近において死傷事故率が100件/億台キロを超えている。交通事故類型は追突事故が約7割であり、県内の国道平均の約1.4倍となっている。通学路に指定されている区間においても歩道未整備区間がある。
- ③銚子市の最寄りの第三次救急医療機関は国保旭中央病院であるが、現状では銚子市役所からの搬送に30分以上要する。

2. 事業の投資効果

並行現道等からバイパス区間への交通転換や4車線拡幅区間の交通容量の拡大により、走行時間の短縮や走行経費の減少、交通事故の減少等の効果が期待される。医療機関へのアクセス向上により銚子市内の医療サービスの向上が期待される。

【対応方針(案)】

継 続

国道126号八木拡幅は、全体事業の費用便益(B/C)が1.5(残事業2.6)であり、事業の投資効果が見込まれる。

整備効果として、交通の転換による走行時間の短縮、交通事故の減少、救急搬送時間の短縮による救命率の向上、農水産業や観光業の支援に資することが期待される。供用目標を公表し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】

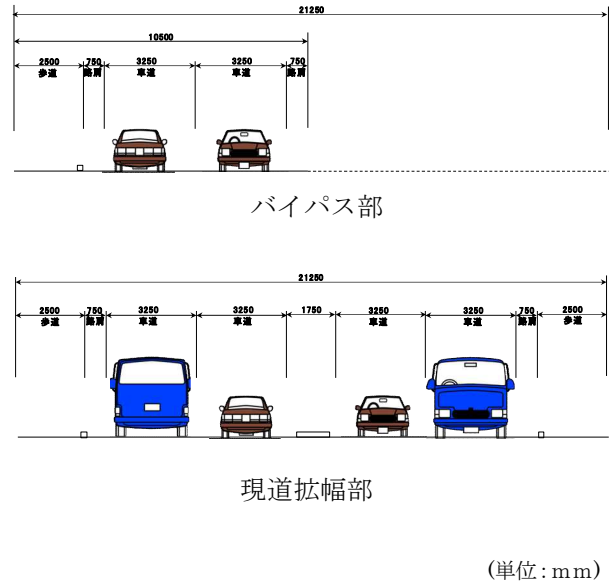
事業概要図

番号	3	事業名	道路事業	路線又は箇所名等	国道126号 八木拡幅
----	---	-----	------	----------	----------------

位置図



標準横断面図



平面図

